

## メルケル政権、発足3ヶ月の危機

発表日：2018年6月18日(月)

～難民対応を巡って姉妹政党が反旗～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主席エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

◇ どうにか連立発足に漕ぎ着けたドイツのメルケル政権が早くも存続の危機に見舞われている。難民対応の強化を求める姉妹政党が、難民の他国への強制送還を主張。月末の欧州首脳会議でEUとしての難民対応を求めるメルケル首相との対立が激化している。メルケル政権は姉妹政党の協力なしに議会の過半数を確保することができない。今回の危機を乗り越えたとしても、難民対応を巡って両党内の緊張は続くことになりそうだ。イタリアでEUの難民対応に批判的な新政権が誕生、東欧諸国もEUの難民受け入れ分担を拒否し続けており、EUが難民対応で一体的な解決策を見出すことは難しい。

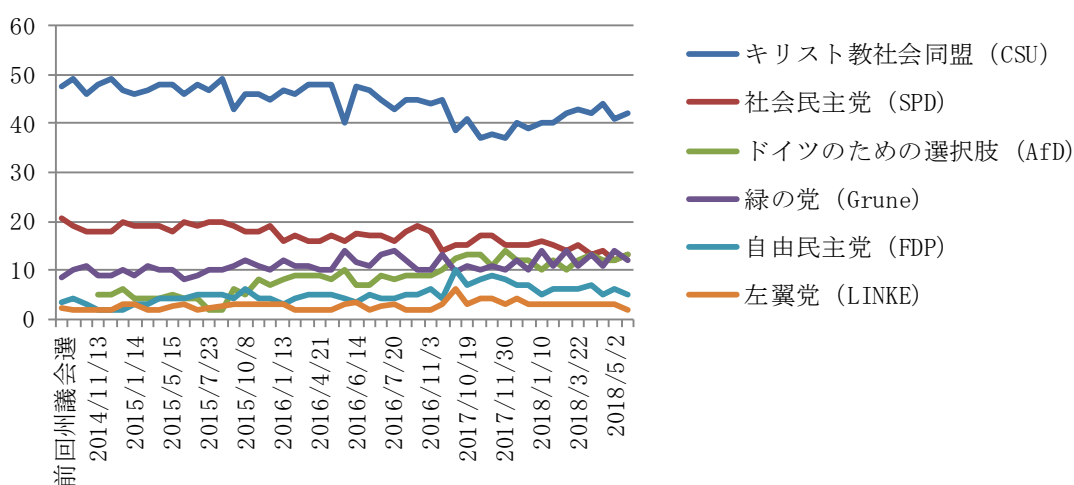
連立協議の難航の末に誕生した第4次メルケル政権は、発足から3ヶ月余りで早くも政権内の亀裂が表面化している。メルケル首相が率いるキリスト教民主同盟(CDU)の長年の姉妹政党で、バイエルン州で活動するキリスト教社会同盟(CSU)が、政府の難民危機対応に反発を強めているためだ。政権内で移民政策を主管する内務相を務める同党のゼーフォッファー党首は、EU内の正式な難民受け入れ分担とは別に、他のEU諸国で難民登録された庇護希望者がドイツに入国することを拒否するように求めている。6月28～29日の欧州首脳会議でEUの難民対応を改めて協議する方針のメルケル首相は、ドイツが一方向的に難民を他のEU諸国に送り返せば、他国の国境封鎖の連鎖を招き、EUの難民危機対応が空中分解することを懸念。EUとしての解決策を模索するため、首脳会議まで2週間の猶予をCSUに呼び掛けている。

バイエルン州は2015年秋の難民危機時にドイツへの難民流入の玄関口となり、これまでも度々政府の難民対応を批判してきた。CSUはこれまでバイエルン州内で圧倒的な支持を誇ってきたが、昨年9月の連邦議会選では、難民の受け入れに厳しい態度を採る新興右派政党・ドイツのための選択肢(AfD)が同州内で大きく躍進。10月14日にバイエルン州の議会選を控えるCSU内では、政府の難民問題台頭での弱腰姿勢に批判が強まっている。各種の世論調査によれば、CSUは長年同州内で維持してきた単独過半数の地位を失う恐れが高まっている(図表1)。ゼーフォッファー党首は内務相権限に基づいて他国への強制送還を推し進める可能性も示唆しており、政権内の緊張が高まっている。連邦議会選での歴史的な敗北で下野を望んだ中道左派の社会民主党(SPD)を説得し、どうにか大連立政権の発足に漕ぎ着けたメルケル首相だが、身内であるCSUの反発で政権存続が危ぶまれる事態に直面している。CDUの200議席とSPDの153議席では(合計353議席)、連邦議会の過半数(355議席)に僅かに届かない。46議席を持つCSUの協力を失うと、連立政権は議会の過半数を維持することができなくなる(図表2)。

ゼーフォッファー党首が内務相権限で難民対応を強化すれば、メルケル首相が同氏を罷免し、CDUとCSUの亀裂が連立解消に発展する恐れもある。ただ、そうした結論はCSU側も必ずしも望んでいないと考えられる。CDUとの協力関係が解消されれば、連立政権の一角として確保してきた閣僚ポストや影響力を失うばかりか、CDUがバイエルン州議会選に独自候補を擁立する可能性もある。

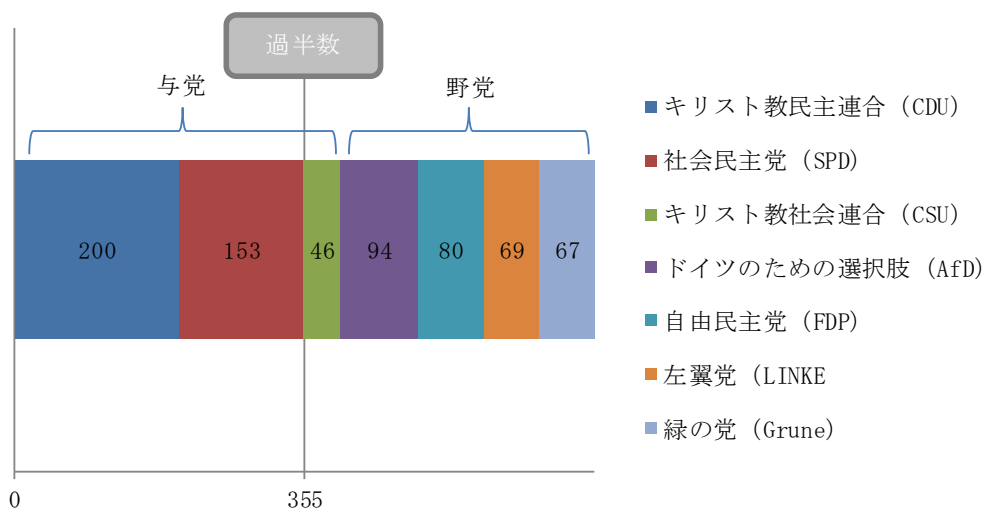
今回の政権崩壊危機が回避されたとしても、難民対応を巡って両党内の緊張は続くことになりそうだ。月末の欧州首脳会議で、メルケル首相が主張するEUとしての解決策で合意できるかは予断を許さない。イタリアで先日誕生したポピュリスト2党による新政権は、北アフリカからEUへの難民流入の玄関口となっている同国が難民対応で負担を強いられているとし、EUの難民対応を厳しく批判している。新政権の内務相となった右派ポピュリスト政党・同盟のサルビーニ党首は、地中海上でイタリアに救助を求めた600人以上の難民を乗せた船の同国への入港を頑なに拒否した。隣国マルタも入港を拒否した結果、スペインで誕生した中道左派・社会労働党の新政権が、人道的な配慮として一時的な受け入れを表明した。また、オーストリアでは昨年の議会選で右派政党・国民党に極右の自由党が協力する連立政権が発足し、難民対応の強化を進めている。ハンガリー、ポーランド、チェコなど多くの東欧諸国は、EUの難民受け入れ分担保を拒否し続けている。EUが難民対応で一体的な解決策を見出すことは困難とみられる。

(図表1) ドイツ・バイエルン州の政党別支持率の推移 (%)



出所: <http://www.wahlrecht.de/index.htm>より第一生命経済研究所が作成

(図表2) ドイツ連邦議会の政党別議席数



出所: ドイツ連邦政府資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。